

## 留学報告書

学部学科:	観光学部観光学科		学年:	2年
留学先:	国:	カナダ	大学/機関:	ブリティッシュコロンビア大学
期間:	2024年 1月 7日 ~ 2024年 3月 24日			
	短期・ <u>中期</u> ・長期 ※○で囲んでください。			計 3ヶ月

## [1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数: <前半>EAP400:月から木 8時半~14時半

<後半>ASPIRE7,8:月から金 9時~15時45分

・科目名: EAP400-Reading and Writing skill & Speaking and Listening skill  
ASPIRE7,8-Integrated Skills & Projects

時間	月	火	水	木	金	土	日
前半 8時半~14時半	○	○	○	○	Free	Free	Free
後半 9時半~15時45分	○	○	○	○	○ Only Aspire7	Free	Free

## [2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラス的人数はクラスによって異なり、EAP400は16人程だった。EAP500・600は各6,7人程で、Discoverは各20人程であった。

EAP400は日本人と国際の生徒の比率が半々であり、国際交流を盛んに行うことが出来た。彼らの国籍は、イラン・アフガニスタン・コロンビア・モントリオール・韓国・中国・チリなど国際色豊かであった。

Reading and Writing skillの授業形態として、教科書を利用しつつ、正しい文法や表現の仕方を学びました。テストの回数が多く、3週間に1回の頻度でまとめ(GrammerやVocabulary)の試験が開始された。一方で、Speaking and Listening skillでは、生徒や先生と直接会話を交わす機会を殆ど設けることができ、会話に触れながら正しい発音や訛りを学びました。この2点のクラスは課題の提出が必須であり、基本的に毎度、授業が終わる度に課題の配信があった。

ASPIRE7,8では教科書等は一切使わずに、インタビューを行ったり、公共施設に訪問し現地の人とコミュニケーションを図ることで、英語力をより向上させる流れとなり

海外派遣留学生  
留学報告書

ました。

大学によっては教材費は最初の渡航費に含まれていたりしたため、私自身も東海大学の留学費に含まれていると考えていたので、現地で自費により購入するとなった際は、少し驚きました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

ノースバンクーバーまでカナダの友人にドライブしてもらい、スノーボードの滑り方を教わりました。人生初のスノーボードだったため、最初は慣れるのに苦労しましたが、彼女による丁寧な教えと徐々にコツがつかめてきたため、最終的に補助なしで滑らかに滑ることが出来ました。また、基本的に毎週金曜日になると、海外の友達とパーティーに参加して皆とダンスを踊ったり、歌を歌ったりしてカナダ方式の楽しみ方を満喫することができました。金曜日に限らずに、休日の夜になると皆と出掛けて、音楽にのりながら踊るなどして充分に楽しむことが出来ました。勿論、女の子の一人夜は危険ですが、比較的バンクーバーは安全で穏やかな場所なので、友達と一緒に居れば何時に出掛けても大丈夫だと私は感じました。

更には、海外の友達の家にお泊まりして、映画を見たりお菓子を食べたりして一緒に過ごしたりもしました。

バンクーバー島のビクトリアという島に友達と一泊二日で訪ね、昔のイギリススタイルの街並みを楽しむことが出来ました。思ったよりも現金が必須な場所だったので少し旅するのに苦しかったです。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

・Nest(広場)友達とくつろいだり、カフェ等に行った。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1人で使用

様子: 私が今回お世話になったホストファミリーは、娘さんと旦那さん・奥さんで生活をしていて、旦那さんがカナダの方で奥さんが日本人でした。沢山の国際料理を毎日用意して下さい、冬でしたがたき火をたきながら BBQ も行いました。

家の中は非常に広々としていて、暖かく綺麗な部屋であったため、何不自由なく快適に過ごすことができました。私自身1階で生活していましたが、洗面所(お風呂・トイレ)やテレビ・ソファなどが設置されていて、その階で生活できるほどの部屋でした。

夕飯を食べ終わった後、ホストファミリーが飼っている犬の散歩に行き、ホストファザーと話をするのが、毎晩の恒例行事となりました。

時間があるときは、サイクリングやスキーに誘って下さり、彼らとの時間を大事にすることが出来ました。

お風呂の入る時間帯や制限時間は何もなく、門限もなかったため、自分の好きな時間にお風呂に入ったり、ドライヤーを使用したり、家の出入りをする事ができました。また、全体的にどの部屋も出入り可能であり、キッチンの使用等も自由でした。

凄く素敵なホストファミリーと出会えて感謝です！

# 留学報告書

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

様々な国籍の人達と交流を持つことで、日本と大きく異なる海外の文化や言語・食べ物などを直接彼らから教わったことが、私にとって非常に興味深く価値のあるものでした。カナダで出会った皆は、人生1度っきりだから今ある人生を思いっきり楽しまなきゃ損する！といった勢いで、彼らのライフを満喫していた姿をみて、驚きとその生き方に対する共感、そして強く感銘を受けました。彼らのお陰で、はじけるような最高な3ヶ月間を過ごすことができ、帰りたくないと感じました。帰ってからも余韻がのこり、カナダライフの感覚がどこに居ても一生消えないなと実感しています。

更には、道で通りかかった人や、Uberの運転手の人とのたわいない会話も楽しむことができ、日本とは異なったオープンな文化がとても好きでした。私自身、出会った人とは積極的に声を掛け、少しの間でも相手との会話を楽しむように心掛けていました。その人のキャリアやカナダの良いところや、移住してきた理由など幅広く話をきくことが非常に興味深く、英語の向上にも繋がりました。

● 苦労したこと:

今回の留学プログラムにおいて、東海大学の協定留学で行ったのですが、今回契約された旅行会社による支援が少なかったことと、情報の不足があったため、少し不安がありました。また、留学後の手続きに必要な書類につきましても、何点か不明な点がありましたため直接東海大学の方にお電話させて頂きましたが、今回の留学において十分な説明が得られなかったことが、悩みでした。

前回のインターンシップの際にお世話になりました OKC(旅行会社)さんから沢山の支援を頂き、留学に関する十分な情報も頂きました。更には、最終説明会では OKC から2方来て頂き、対面による最終確認を行い、書類なども手渡しで分かりやすく提供して下さいました。

次に留学に行く生徒達が、このような悩みを持たないように願っています。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

私はカナダのモントリオール出身の友達がいいたため、学校やプライベートの時間はその子と過ごす時間が殆ど多かったです。勿論その子と居る際は全て英語でコミュニケーションを図っていました。更には、イランやコロンビアの友達もいたため、その子達と過ごす時間も多く英語によるコミュニケーションを得ることができました。

その他にも、外の場で出会った外国人の方達と仲良くなり、プライベートで何度も会い親交を深めることが出来ました。その際に、現地の方以外にもチリやメキシコ・コロンビアといったスペイン語を第一言語とする人達とも交流をもてたため、基本的な会話は英語であったが、彼らからスペイン語も学ぶことができ、非常に貴重な時間を過ごすことが出来ました。

よって、語学力はアップできたのではないかと感じます。

海外派遣留学生  
留学報告書

しかし、前回のオーストラリア派遣の一ヶ月間のインターンシップと比較すると、英語力の向上は強く感じませんでした。少なくとも今回のカナダ留学では、日本人の割合が非常に多く勿論のこと彼らは日本語で会話をを行い、私自身も彼らとは日本語で会話をするため、完全に日本語をシャットダウンすることが困難でした。

しかし、3ヶ月間のカナダの大学生活を十分に満喫することができ、日本では得られない貴重な経験を数えられない得ることが出来ました。

2) 専門知識の向上:

文法の使い分けや、単語の意義の違いなどについてネイティブの方から直接教わったことで、具体的な英語の使い方を把握することが出来たことで、自分中で理解し切れなかった Vocabulary や Grammar・Phrase を明確にし、より一層理解を深められたことです。

3) 自己成長など

今回の留学は自分自身に大きく変化を与え、より一層「自立」できたのではないかと強く感じます。特に、どのような状況に居ても、自分の考えをしっかりと持ち、意思をはっきり述べる大切さを学びました。自分が物事に対して何を感じ、どう行動を起こしたいのかといった感情を自ら表に出し、自己アピールをしていくことで、より自分の視野が広がり沢山の人とコミュニケーションをはかることが出来ました。

私自身の成長に大きく変化をもたらし、全てのカナダでの思い出が一生心に残る最高の思い出となりました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

その国でしか出来ないことが沢山待っているの、思いっきり楽しんで、何も恐れずに何事にも興味を抱き、積極的に物事に挑戦して行って下さい！！

海外派遣留学生  
留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	97万
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	20万
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	2.7万
現地からの奨学金がある場合	なし
お土産代や個人的な買い物	25万
その他( )	
留学に関する費用の総額	144万



海外派遣留学生  
留学報告書



海外派遣留学生  
留学報告書

